

所属・氏名（健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 氏名：足立 達也 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 異なる重量を用いたスレッド牽引走が加速局面の接地期における疾走動作に及ぼす影響《筆頭論文》(査読付)	共著	2022 年 6 月	陸上競技研究、129	本研究では、異なる重量を用いたスレッド牽引走が、加速局面においてどのような疾走動作を引き出しているか明らかにした。その結果、体重の30—50%の重量を用いた中・高重量のスレッド牽引走では、前傾角度が大きくなること、股関節角度が小さくなること、下腿角度が大きくなることが示された。 頁数:14-23 担当部分:本研究の筆頭研究者として、本実験、データ処理、統計処理、論文執筆に寄与 著者名:足立達也、尾崎雄祐、上田毅
2 (学術論文) 児童・生徒のつまずきに焦点を当てた実践的な教材研究が教師の力量形成に及ぼす影響	共著	2025 年 8 月	体育・スポーツ教育学研究、1	本研究では、ハードル走を題材として、大学 3—4 年生の保健体育科教員を目指す学生を対象に、児童・生徒のつまずきに焦点を当てた実践的な教材研究が教師としての力量形成に及ぼす影響を明らかにした。対象者は、予測されるつまずきや解決に向けた指導の手立てを計画したうえで模擬授業を実施した。その結果、授業の中核をなす教材や学習者の課題に焦点を当てた実践が促されることが示唆された。 頁数:43-52 担当部分:本研究の筆頭研究者として、本実験、データ処理、論文執筆に寄与 著者名:足立達也、糠谷康弘
3 (学術論文) 中学生における短距離走学習が前傾姿勢や疾走速度に及ぼす影響:加速局面と中間局面の改善を目的とした授業展開 《筆頭論文》(査読付)	共著	2025 年 10 月	陸上競技研究、139	本研究では、中学校の体育授業における短距離走の局面をまんべんなく改善することを目的とした学習が、加速局面の前傾姿勢や50m走の疾走速度に及ぼす影響を明らかにした。その結果、短距離走学習において、疾走速度やストライドおよびピッチに有意な改善はみられなかったものの、生徒を個別で検討すると、前傾角度の大きさと疾走速度に関連性があることが示唆された。 頁数:12-22 担当部分:本研究の筆頭研究者として、本実験、データ処理、統計処理、論文執筆に寄与 著者名:足立達也、久保和樹
4 (翻訳) 学生アスリートのメンタルウェルネスへの理解とサポート:第三章 障害の解明	共著	2026 年 3 月	広島国際大学基盤教育センター紀要、10	学生アスリートは、摂食障害や不安・抑うつ、睡眠障害などさまざまな精神的健康問題に直面している。本調査では大学生の約 30%が抑うつ状態で、50%が強い不安を経験していることが示された。ストレス、睡眠困難、人間関係、学業、経済問題が要因となっている。さらに、過度な飲酒や薬物使用、ギャンブルは成績低下や行動問題と関連しており、大学は包括的支援体制の構築が求められる。 頁数:87-149 担当部分:翻訳 著者名:足立達也、金炫勇

令和 8 年 4 月 1 日 現在